

取扱い上の注意

①表示の用途以外には使用しないで下さい。塗料がすでに塗られている面や吸い込みがない化粧合板には塗れません。②食品に直接触れるものには塗らないで下さい。③体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。④目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して下さい。皮膚に付着したまま放置すると、炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。⑤塗装中、乾燥中ともに換気をよくして下さい。⑥塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。⑦塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。また、塗装中、乾燥中ともに5℃以下になるときは塗らないで下さい。⑧塗料のかたまりが不足すると、中身の成分が混ざらずに十分な効果を発揮できない場合があります。⑨フタを開け閉めする際に塗料が飛び出ることがありますので、フタはゆっくりと開け閉めして下さい。⑩クリアは屋外の直射日光が当たる場所では、有色品に比べて色あせしやすい傾向があります。⑪下地の色や吸い込みの度合いによって仕上がりの状態や色、乾燥性が大きく左右されますので、あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色・浸透性・下地への影響などを確かめてから塗って下さい。⑫塗り面積・乾燥時間・着色力・色相は、素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。⑬塗装面が雨などで濡れている場合は、はき物の種類によっては歩行の際に滑りやすくなることがありますので注意して下さい。⑭表示の色は印刷のため、実際の色と多少異なります。⑮容器は塗料を使い切ってから捨て下さい。⑯ゆむをえす本品を捨てるときは、水性・油性兼用塗料固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、乾かしから一般ゴミとして処分して下さい。⑰容器を落ささせると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

下地処理の注意

①塗る面全体を、木目にそって#240程度のサンドペーパーを使用してきれいにします。②ヤニが多い箇所は、ラッカーうすめ液でヤニを充分に拭き取って下さい。③他の塗料が塗装されている箇所には使用できません。旧塗膜をワイヤーブラシなどを用いて充分に取り除いて下さい。

保管上の注意

①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。②直射日光や火気のある場所、-5℃以下になると、自動車内などの高温になるところには置かないで下さい。③残った塗料はしっかりとフタを閉めて保管し、できるだけ早く使い切して下さい。

危険



●遺伝性疾患のおそれ ●臓器の障害のおそれ
●水生生物に非常に強い毒性

救急処置

●目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。



「 すり込み仕上げで、色鮮やかに
屋内、屋外で使える 」

WOOD GEL STAIN



豆由来の
天然なめらか
ジェル化剤配合

水性 WOOD ジェルステイン

シックなツヤ
300ml

ローズピンク

※色見本は印刷です。実際の色合いとは多少異なります。

標準塗り面積
(2回塗り)

1.7~3.1㎡
タタミ0.9~1.7枚分

乾燥時間

夏期/約30分~1時間
冬期/約2~3時間

塗り重ね時間の目安

夏期/1時間以上
冬期/3時間以上



うすめずに
そのまま
塗って
ください。

防カビ剤、
HALS(紫外線劣化防止剤)、
UVA(紫外線吸収剤) 配合

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

商品名 水性WOODジェルステイン 品名 合成樹脂塗料(水系)

成分 合成樹脂(アクリル、ウレタン)、顔料、防カビ剤、紫外線劣化防止剤、紫外線吸収剤、水

特長
・布ですり込むように仕上げるジェルタイプの塗料です。
・豆由来の天然ジェル化剤を配合しているので、塗りやすく、塗りムラになりにくく、きれいな仕上がりになります。
・木目を生かした美しいステイン仕上げができ、日光や雨に強く耐候性が優れています。
・水性ですからニオイが少なく、取扱いが簡単です。
・防菌・防カビ効果があり、木部を美しく保ちます。

用途
・屋内外木塗装木部・ハンドクラフト、ホームデコレーションの木部・テール天面、椅子、ベンチなどの屋内木部建具・ラティス、トレリス、プランター、ウッドデッキなどの屋外ガーデン木製品
他の塗料が塗装されている場合は、旧塗膜を充分に取り除いてから塗って下さい。常時水のかかるところや湿かるところ、いつも湿っていると、また頻繁に歩行する床面には適しません。

塗装方法
①塗る面のゴミ・油分・サビ・カビ・ヤニ・ワックスや、旧塗膜などを取り除き、木部の水分を乾燥させます。下地処理については下地処理の注意に従って行います。②塗料がついて困るところは、あらかじめマスキングテープなどでおおいます。③使用するときは、フタを指で押さえて容器ごとよく振って中身を混ぜます。フタをゆっくりと開け、容器の口に布をあてて逆さにし、容器の胴体を押して本品を布につけます。④布につけた本品を木目にそってすり込んで均一に着色し、余分な塗料を拭き取ります。ハケでも塗装可能です。その場合、布塗装に比べて濃く仕上がります。⑤2回塗りを標準とします。塗り重ねは1時間(冬期は3時間)以上おいてからにします。⑥塗装後、塗装表面にざらつきが生じた場合、サンドペーパー(#320程度)を軽く当ててから塗り重ねると、滑らかに仕上がります。⑦塗り終わったら、すぐにマスキングテープをはがします。⑧容器の口の周りを布などできれいに拭き取ってからフタを閉めて保管します。

用具の手入れ方法 塗料が乾かないうちに、水が湯で洗って下さい。

株式会社 アサヒペン

大阪市鶴見区鶴見4-1-12 <http://www.asahipen.jp>

お客様相談室 ☎06-6934-0300



フィルム(PET)
キャップ(PP)
容器(PET)

日本製

00-1710